

## 「郵趣MYコレクション展2025 フリースタイル部門」作品解説

※展示作品の紹介は作品番号、フレーム番号、作品タイトル、氏名、日本郵趣協会会員番号(会員のみ)、都道府県、作品解説の順になっています。

### FS01(FS01) 【特別賞】

テノール歌手メルヒオール

加藤 和宏 (M-2520・神奈川県)

テノール歌手メルヒオールは、第二次世界大戦の前後、米国ニューヨークのメトロポリタン歌劇場に出演し、黄金期を迎えました。映画にも出演し、音楽切手収集家としての顔も持っています。その様々な顔を紹介します。

### FS02(FS02 – FS03)

ポスト型はがきの変遷

富永 義之 (P-108028・茨城)

2024年8月に生産を終了したポスト型はがき。みんな同じと思っていましたが、調べてみたら、いろいろと変化がありました。その調べた結果を、作品にまとめてみました。

### FS03(FS04 – FS07) 【玉木選考委員賞】

昭和のガムパッケージ、切手とコラボ

鎌倉 達敏 (S-31109・神奈川県)

懐かしい昭和のガムパッケージ。紙物コレクションとしては、あまり表舞台には登場しないのですが、大先輩の収集家が残してくれた、状態の良い「ガムパッケージの外装、さや紙」を「郵便切手」とコラボして展示します。

### FS04(FS08) 【特別賞】

グリム童話の世界

大堀 あかり (東京)

切手になったグリム童話15話を読んで、あらすじとかんそうをまとめ、おじいさんからもらったドイツのグリム童話切手をならべ、まわりに登場する人や動物、品物を絵で書いてみました。

### FS05(FS09)

私製航空書簡

永吉 秀夫 (M-32613・鹿児島)

官製品に準拠して製作されたはずですが、バラエティもあります。カタログがないので全容はわかりませんが、入手できたバラエティをご覧に入れます。切手を貼って使用した実用品も、各料金時期に分けて展示しました。

#### FS06(FS10)

カラーポストカード史

行徳 国宏 (S-173291・埼玉)

昭和62年から全国的な利用となったカラーポストカードを、モノクロ時代の葉書から現行のパソコン印刷仕上げまで郵便利用した葉書で収集、各葉書の裏面写真部を縮小貼り付けしてカラーの技術向上が解るように開示した。

#### FS07(FS11)

ふるさと ～心象風景からⅡ～

(公財)日本郵趣協会 女性郵趣サロン研究会

「ふるさと」への思いは、実際にふるさとで生活した時間の長さや距離にかかわらず、心の奥底に培われるように思います。ふるさとへの思いを切手に投影して、どのように私達の目に映るのか、チャレンジしてみたいと思います。

#### FS08(FS12) 【田仲選考委員賞】

世界のチーズ切手

出品者希望により匿名

世界中で親しまれる食材「チーズ」に着目して、世界のチーズやチーズにまつわる切手を集めてみました。

#### FS09(FS13)

「スタンプショウ」出品20周年記念

今井 節子 (P-900807・神奈川)

スタンプショウに出品して今年で20年目になります。「20」という数字の記念切手や、祝福される樹木や花の切手を選び貼付し「スタンプショウ」出品20周年記念をまとめました。

#### FS10(FS14-FS16) 【日本郵便株式会社賞(グランプリ)】

絹物語

柴田 公子 (S-194175・栃木)

中国の秘密政策でなかなか広まらなかった繊維の女王である「絹」について、東西にどのように広まったか、また、蚕の種類から工業的に生産するまでに至った発展を提示。かつ貴重な古布を郵趣品とともに展示。

#### FS11(FS17-FS19) 【池澤選考委員賞】

私がデザインした 風景印・小型印 2025

嘉藤 雅子 (P-194247・埼玉)

消印好きが高じて風景印や小型印のデザインをするようになった。自分で作った消印が使用される際は、自作の絵ハガキに押印して記念品を作成している。今までに手がけた消印54個をご紹介します。

## FS12(FS20)

直筆エンタィアで見るプロ野球名選手列伝

犬飼 英明 (P-49178・東京)

長年、有名人の直筆エンタィアを集めています。今回はその中から、有名プロ野球選手、監督の直筆エンタィアを展示します。ファンへの返信や恩師宛の年賀状などを見ると、個性豊かな人柄や人間性が垣間見えるようです。

## FS13(FS21)

昭和改元物語

野口 喜義 (S-8981・東京)

「昭和」の改元に関しては複数の物語があります。新元号は何だったのか。物語と共に郵趣的にも複数の説と主張があります。昭和はいつからだったのか。それらを新聞・記事や郵趣品等によって味わっていただきたいと思います。

## FS14(FS22－FS23)

知って欲しーさー 沖縄の獅子と獅子舞

田中 敏彦 (P-65725・大阪)

沖縄と言えばシーサー、シーサーと言えば沖縄！切手・風景印・絵葉書などを素材として、沖縄と内地や外国との比較も含め、獅子像と獅子舞を概観します。

## FS15(FS24－FS25)

Joyful Joyful: ベートーヴェン・チクルス(Reprise)

竹内 磨微 (P-194503・埼玉)

「第10回なでしこ切手倶楽部展」に出品した作品を再度公開します。テーマは「JOY」だったので、ベートーヴェン交響曲第9番「合唱」の「歓喜の歌」にちなみ、映画・漫画・切手などをご紹介します。

## FS16(FS26)

タコ

立川 賢一 (L-13・東京)

腹足類のタコ(蛸)は高い知的能力を持っているとの研究成果が報告され、一方で漁獲量が減少している現状からタコの保護活動を指向する機運が生まれています。切手に描かれたタコの図柄を眺め、この課題を考えたい。

## FS17(FS27)

レターセットいろいろ

比留間 健一 (S-5046・東京)

郵便というメディアで私たちは何を伝えようとしてきたかに興味があります。今回は、封筒と便箋に何らかの統一感のあるレターセットの、実際に使われたもののいろいろを並べてみます。

FS18(FS28)

郵趣で「うなる」浪曲

北爪 和宏 (S-194778・千葉)

浪曲は明治時代に興った演芸で、戦前から昭和30年代まで人気を誇った。最近では人間国宝誕生や若手の台頭で人気復活の兆しが出ている。郵趣で浪曲、不弁ながらも～勤めま～しょう～♪

FS19(FS29)

クリスマス・リーフⅡ

飯嶋 賢太郎 (S-190637・東京)

クリスマス関連の中で特筆して気になったものに数多く巡り合う事が出来たので、私なりの率直な表現にて著してみました。 初歩的・基本的な構成ではありますが、ご観賞頂ければ幸いです。

FS20(FS30)

2025 年賀郵便事情

飯嶋 賢太郎 (S-190637・東京)

今回の年賀状及び年賀郵便の中で特筆して気になったものに数多く巡り合う事が出来たので、私なりの率直な表現にて著してみました。種類・消印等の叙述的表現をお楽しみ頂ければと思います。